

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

住み続けられる松江市へ 安全安心・福祉・くらし最優先 市議会閉会・県議選おわる

松江市議会2月定例会閉会

3月24日、松江市議会は令和5年度予算1035億1500万円等予算案件26件、条例案件17件を含む71議案および議員・委員会提出案件4件、陳情5件につき討論採決を行い閉会しました。

2023年度予算は

本会議で討論するたちばなふみ市議

令和5年度予算は、総合文化センター（プラバホール）の改修が本格化すること、水光熱費の高騰などで過去最大だった令和4年度並みの予算規模となりました。補正予算は、子どもの安全対策、民設学童クラブ整備補助、新型コロナウイルス・物価高騰対策、水光熱費高騰などで19億6073万円増でした。

主な条例改正は

条例改正の主なものは、①「こどもまんなか社会」実現にむけて取り組むため「子育て部」の名称を「こども子育て部」に変更するもの。②消防団員の年額報酬を増額し、災害出動、訓練その他の出動報酬を見直すとともに、消防団員の定員を改めるもの。③健康保険法及び国民健康保険法施行令の改正により出産育児一時金を現行の42万円から50万円に引き上げるなどの松江市国民健康保険条例改正を行うものなどです。

共産党は7議案に反対 たちばな市議が討論

を国に求める意見書」が全会一致で可決しました。同様の内容を長年にわたり全国福祉保育労働支部が市に要望、2月議会でも、たちばな市議が「国へ要望すると共に市独自で改善を」と求めています。

令和5年度予算案について、「誰一人取り残さない松江には、貧困対策、福祉、社会保障の予算の増額が必要である、困った人にやさしい松江市政を」「住み続けられる松江市への一番の弊害は島根原発再稼働。事前了解は撤回を」と訴え反対しました。

各党派が討論にたち、共産党市議団を代表してたちばなふみ市議が討論を行いました。松江市総合文化センターの設置及び管理に関する条例の一部改正は、改修後の利用料金を約1.3倍に値上げするものであり誰でも利用しやすく低料金であるべきだと主張し反対しました。

陳情「松江市議会の各委員会で陳情及び請願を審査する際の趣旨説明を求めることに關して」について「陳情や請願に至った背景や思いを聞き取ることが重要」とし採択すべきと訴えました。反対多数で不採択となりました。

その他国保会計、介護保険会計、後期高齢者医療保険会計、水道会計に反対しました。（裏面に予算に対する討論）

島根県議会議員選挙 激戦勝ち抜く

9日投開票で行われた島根県知事・県議会議員選挙で、日本共産党の尾村利成県議候補は、大激戦の中、

5132票・10位で6期目



かけつけた支持者と万歳する尾村候補

の当選を果たしました。選挙事務所が開票を見守る中、11時過ぎ当確が発表され、事務所は喜びに沸き返りました。

尾村候補は「大激戦の中、黨員、支持者の皆さんの大変なご支援を頂き、この激戦を勝ち抜くことができました。原発の再稼働は許さない。暮らし・教育・福祉守つての願い実現に向かって力を尽くします。市議団や支援者の皆さんと一緒にこれからがんばりたい」と感謝と決意を述べました。

出雲選挙区では大國陽介氏が当選し、日本共産党は現有2議席を守りました。県知事選では、向瀬慎一氏が健闘しました。



この議場で最後の本会議でした



新しい議場の見学をする市議のみなさん